

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
 担当課長名：東 智徳

事業名 藤沢厚木線		事業区分 街路	事業主体 神奈川県
起終点 神奈川県藤沢市城南 神奈川県藤沢市大庭		延長 0.6 km	
事業概要 本路線は藤沢市、綾瀬市、座間市、相模原市の4市を連絡し、県央・湘南地域の南北軸を形成する広域的な幹線道路である。			
S60年度事業化	S32年度都市計画決定 (S56年度変更)	S60年度用地着手	S61年度工事着手
全体事業費	6.1億円	事業進捗率	9.7%
計画交通量	41,300台/日		
費用便益分析結果	B/C (事業全体)2.7 (残事業)59.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 4/8.8億円 事業費：3.0/87.0億円 維持管理費：1.0/1.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /23.6億円 走行時間短縮便益：/213.0億円 走行費用減少便益：/19.0億円 交通事故減少便益：/4.0億円
基準年 平成15年			
事業の効果等 円滑なモビリティの確保・・・現道の旅行速度が改善される。 都市の再生・・・DID区域内の都市計画道路整備 国土・地域ネットワーク・・・現道等における大型車のすれ違い困難を解消する。 他2項目			
関係する地方公共団体等の意見 周辺の慢性的な渋滞の緩和、横浜湘南道路と藤沢北部の工場地域をアクセスすることによる物流の効率化等、事業の重要性は高いものである。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺の交通渋滞は、現在も慢性的に発生しており、本事業の重要性・必要性は依然として高い。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得は完了しており、平成14年に着手した城南トンネルは今年度到達した。今後は引き続き道路改築を実施する。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ゴルフ場が近接しているため、施工方法・復旧方法に配慮が必要であったが、今年度にトンネルは到達しており、現在は道路改築工事が進められている。			
施設の構造や工法の変更等			
対応方針 早期完成を目指し、事業を継続する。			
対応方針決定の理由 横浜湘南道路と藤沢北部の工場地域をアクセスすることによる物流の効率化等、事業の重要性は高い。また、用地買収も完了している。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。